

平成29年度 小樽商科大学

# アクティブラーニング シンポジウム

参加  
無料

本学におけるアクティブラーニング等の新しい教育方法を他大学等に広く情報提供するとともに、その教育方法を初等中等教育にも普及させることを目的としたシンポジウムです。



国立大学法人  
小樽商科大学



文部科学省採択事業(平成27年度～平成31年度)  
大学教育再生加速プログラム(AP事業)  
テーマIV 長期学外学修プログラム  
(ギャップイヤー)

## 2017.9.2 土

13:00～17:30

定員 200名

会場

小樽商科大学4号館160CL教室  
北海道小樽市緑3丁目5番21号

小樽商科大学

10分

(バス・  
タクシー  
利用)

JR小樽駅

「小樽駅前」ジェイアールバス②乗り場より中央バス小樽商大線に乗車、終点の「小樽商大前」下車(乗車時間約10分)



12:20～13:00 受付

13:00～13:10 開会挨拶

13:10～13:20 来賓挨拶

13:20～14:30 基調報告

小樽商科大学におけるアクティブラーニングの現状と課題  
(休憩:20分)

14:50～15:50 分科会

- ①アクティブラーニングを取り入れた初等中等教育での教育方法
  - ②小樽商科大学の語学教育における実践型Blended Learning
  - ③グローバル教育におけるアクティブラーニングの手法
  - ④地域連携活動における学生の成長—地域連携ブリッジ教育プログラム—
- ※同時時間帯に施設見学ツアー「小樽商科大学の新しい取り組み」を行います。  
(休憩:30分)

16:20～17:20 パネルディスカッション

北海道におけるアクティブラーニングの普及に向けて

17:20～17:30 閉会挨拶

主催

国立大学法人 小樽商科大学  
グローバル戦略推進センター

後援

北海道教育委員会  
札幌市教育委員会  
小樽市教育委員会

お申し込み方法

下記URLよりお申し込みください。

[http://www.otaru-uc.ac.jp/cgs/  
esd/alsymposium/](http://www.otaru-uc.ac.jp/cgs/esd/alsymposium/)

締切

8月10日



お問い合わせ

教務課教務企画係

TEL:0134-27-5236

Mail:k-kikaku@office.otaru-uc.ac.jp

13:20~

**基調報告** 小樽商科大学におけるアクティブラーニングの現状と課題

報告者 | 大津 晶 (教育支援副部門長/学長特別補佐/社会情報学科准教授)

小・中 高校 大学 自治体 企業

平成24年のいわゆる「質的答申」を機に高等教育の現場に急速に広がったアクティブラーニングの流れのなかで、小樽商科大学が取り組んできたアクティブラーニング推進事業(AL環境の整備~多様なAL手法の開発~ALの効果測定)を振り返り、これらの成果を報告します。あわせて持続的なAL推進のための課題を整理するとともに、初中等教育への展開やラーニングアナリティクスの進展など最近の話題にも触れて今後の展望を議論します。

14:50~

**分科会①** アクティブラーニングを取り入れた初等中等教育での教育方法

コーディネーター | 大津 晶 (教育支援副部門長/学長特別補佐/社会情報学科准教授)

小・中 高校

積極的に探求学習などに取り組む高等学校等の実践事例の報告に基づき、次期指導要領を見据えて初等中等教育における「主体的・対話的で深い学び」を展開していくための考え方や具体的方策・課題、および高等教育への接続や連携などについて参加者とともに議論を深めます。

**分科会②** 小樽商科大学の語学教育における実践型Blended Learning

報告者 | サーマン・ジョン (言語センター教授)・井上 典子 (言語センター教授)

小・中 高校 大学

ブレンデッドラーニングとは、対面学習とオンライン学習の良い所を組み合わせた、インタラクティブ性の高い複合型授業であり、本学では2014年より語学教育に導入しています。今回は本学が独自に作成した教員のデジタル教材等のコンテンツを実際の授業風景とともに紹介し、初等中等教育における語学教育への展開や具体的方策等について参加者とともに議論を深めたいと思います。

**分科会③** グローカル教育におけるアクティブラーニングの手法

報告者 | 船津 秀樹 (グローバル教育部門長/経済学科教授)

小・中 高校 大学 自治体 企業

グローバルな視点から地域経済の課題について考え、より具体的な解決方法を見出していくためには、アクティブラーニングの手法が有効です。スタディーツアー型の海外事情科目において用いた手法、本学のグローバルセミナーにおいて用いている日本人学生と留学生との共同学習における手法、グローバルインターンシップにおいて、小中学生のための英語キャンプにおいて用いている手法、などを紹介します。

**分科会④** 地域連携活動における学生の成長—地域連携ブリッジ教育プログラム—

報告者 | 小山田 健 (グローバル教育部門地域連携教育担当コーディネーター/学術研究員)

大学 自治体 企業

本学の目指すグローバルな視点から地域経済の発展に貢献できる人材(グローバル人材)育成において、海外留学や海外研修等の「グローバルブリッジ教育プログラム」と両輪をなす「地域連携ブリッジ教育プログラム」。今回は本学の「地域連携ブリッジ教育プログラム」の中から、大学の講義等で学ぶ理論や分析手法を用いて地域活性化のプロジェクトを行う「プロジェクト・ラーニング(通称:本気プロ)」の活動について報告します。

16:20~

**パネルディスカッション** 北海道におけるアクティブラーニングの普及に向けて

コーディネーター | 大津 晶

小・中 高校 大学 自治体 企業

パネラー | 船津 秀樹、サーマン・ジョン、井上 典子、小山田 健

各分科会の成果等を共有しつつ、これからアクティブラーニングの推進・普及を通じて学校種を越えた北海道における地域の教育力・人材育成力の向上を目指すための課題について幅広い視点から討論を行います。

その他

14:50  
~15:50

施設見学ツアー「小樽商科大学の新しい取り組み」

小・中 高校 大学 自治体 企業

平成24年より主要講義室の先進的アクティブラーニング対応改修やラーニングcommonsによる学修環境改善を行いました。今回はそれらのアクティブラーニング対応教室、ラーニングcommons等の整備施設の概要を、本学の教育・研究・地域貢献に関する取り組みとともに解説しながらご案内します。